

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
1	地域に貢献する高齢者への支援	子供たちの通学をサポートする高齢者グループを支援します。通学路に沿って自分の住む地区から隣の地区まで子どもたちと一緒に通学サポートする「みな孫見守り隊」。パトロールのために委託費として警備会社に支出していた費用を「みな孫見守り隊」の経費として地域に還元します。	<p>単位老人クラブの平成23年度の事業計画によれば、地域の防犯パトロールや登下校時の見守り活動を計画している(週1回、月4回程度)のは27クラブであり、老人クラブの会合等を利用して協力を呼びかけました。併せてシルバーヘルパー講習会時に、見守り活動への協力依頼を行いました。</p> <p>また、地域の見守り隊の組織率が低い合志小学校、西合志中央小学校、西合志第一小学校区の下校時の巡回警備を業務委託により実施しています。さらに、新たな試みとして、合志市「安全安心の日」推進要綱に定める1日、10日、20日に、下校時間帯に合わせて、職員による青色パトロール車巡回を実施しております。</p> <p>なお、平成25年度についても、同内容で事業を継続する予定です。</p>	1年以内
2	放置自転車撤去条例の制定	放置自転車防止条例をつくり、住環境保全と自転車盗などの軽犯罪の防止に努めます。	平成22年9月30日の条例制定後、適宜放置自転車の撤去を行っております。	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
3	公共交通と温泉を使った安全・健康・交流支援「湯ったり乗ったり弁天カード制度」	ユーパレス弁天の温泉が100円で何時でも利用できる便利なカード「湯ったり乗ったり弁天カード」を販売します。公共バスの利用は、高齢者の交通事故を防止し、地球環境にもやさしく、温泉は心身の健康や、旧町市民の交流に役立つなど、たくさんの相乗効果が期待されるはずで	平成23年7月から補助要綱を改正し弁天カード提示による入浴料を100円としたことにより、平成23年7月以降、カード販売枚数及び入浴者延べ人数が大幅に増加しました。 平成24年度の実績値は、販売枚数131枚、延べ入浴者数3,069人でした。	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
4	ごみの減量化とリサイクル促進	マイバック運動、資源物回収運動、ダンボールコンポスト等ごみの堆肥化の普及促進、リサイクルセンター等の誘致を積極的に進めます。	<p>①マイバック運動について 平成23年6月よりレジ袋の削減に関する取組みを本格スタートさせました。平成23年度は、大型スーパー4店舗と有料化の協定締結を行い、平成24年度は新たに3店舗、有料化に取り組み合計7店舗になりました。その他の事業所についてもマイバックの持参率を高めるためののぼり旗やポスターの掲示及びお客さんへの声掛け等、レジ袋の削減に取り組んでもらっているところです。今後も継続して、レジ袋の削減に取り組んで行くこととしております。</p> <p>②資源物回収運動について 平成24年度は、資源物回収団体の掘り起こしを行い、前年度に比し9団体の新規登録がありました。団体の資源物回収活動は延べ144申請があり10,478,628円の助成金の交付を行いました。今後ごみの減量化に向けて継続して取り組んでいきます。</p> <p>③ダンボールコンポスト等普及促進について 平成24年度からは、生ごみ処理機器設置補助事業(EM容器、コンポスター、電動式生ごみ処理機器の設置補助)に統合し、生ごみの減量化に向けた補助事業を更に周知啓発していくこととしております。平成24年度は138基の購入がありました。</p> <p>④リサイクルセンター等の誘致について 現在、同様の施設を2市2町で構成する菊池環境保全組合の環境美化センターで運営しています。構成市の兼ね合から非常に難しい状況ではありますが、資源物回収の視点からリサイクルセンターについて検討を行います。</p>	1年以内
5	地元中小企業支援 地域が頑張れる条例の制定	地元企業への発注を原則とする条例をつくります。	平成22年9月に条例を制定。現在まで11回の合志市中小企業等活性化会議を開催し、市内中小企業等の振興策の検討を引き続き行なっています。特に、平成24年度は住宅リフォーム助成事業の検討を集中的に行い、平成25年度予算に反映させました。	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
6	まちづくりに市民のアイデアを！ チーム「宝箱」	合志市に住むことがより楽しくなるような、色々なアイデアを出せる市民の組織を作ります。	平成25年2月8日、シンクタンク的な組織編成の前段として、市と連携協定を締結している団体等(16団体)と連携協定機関連絡会議を設置・開催しました。今後は、この連絡会議を契機に、オープンマインドな組織(チーム宝箱)づくりを進めていきます。	1年以内
7	手弁当 合志市が大好き 検討委員会の設置	住民参加の手段として「市民自主参加型検討委員会」を作ります。	平成24年度は、合志市CM制作ワークショップ及び合志市夏祭りにおいて、市民に手弁当で自主参加していただき、市民の知恵をお借りし実施した。 現在、市政への協力者を人材(財)バンクに登録し、各種委員会等の委員として選任するなど、広く活用していく取り組みを継続して実施しています。	1年以内
8	健康に結びつく様々な活動を融合させた健康づくり	行政職員がコーディネーターとして活躍すれば、スポーツや文化活動、ボランティア活動など多様な取り組みを健康に結びつけることが可能です。	様々な活動を融合させた健康づくりを推進するため、平成24年4月に新たに健康企画班を設置し、健康づくり推進員養成講座(第一期)を9月～1年かけて開講しました。(52人登録) また、健康づくりモデル地区事業として、野々島コミュニティとすずかけ台区で実施し、すずかけ台区は自主的な活動へと発展しました。 なお、出前講座での健康教育として、保健師や栄養士を派遣し生活習慣病予防などの啓発を行っています。 さらに、スポーツ推進委員が、健康づくりの一環とした出前講座を40回行い、併せて「合志市元気体操」普及啓発に努めました。	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
9	みんなで祝おう100歳の誕生日	高齢者祝い金は、現状では1万円の祝い金で、100歳以降毎年1万円が支給されています。年間20名にも満たない対象者であり、市民みんなで祝う価値があると思うので10万円に増額します。	<p>多年にわたり社会の発展に寄与された高齢者に対し、敬老祝金等を贈呈することで、長寿を祝い、労をねぎらうとともに、市民の敬老思想及び高齢者の生活意欲の高揚を図るものです。                      なお、実績等については次のとおりです。                      (平成22年度実績)                      ①22年度、100歳の誕生日を迎える方に、敬老祝金10万円とお祝いメッセージを12名の方に贈呈しました。また、承諾を得て広報にも掲載しています。                      ②22年度に限り、101歳以上の方に、10万円から昨年度まで贈呈した祝金を差し引いた額を20名の方に贈呈しました。                      (平成23年度実績)                      本年度、100歳の誕生日を迎えられた方に、敬老祝金10万円とお祝いメッセージを贈呈しました。また、承諾を得て広報に掲載しました。贈呈者12名                      (平成24年度実績)                      本年度、100歳の誕生日を迎えられた方に、敬老祝金10万円とお祝いメッセージを贈呈しました。また、承諾を得て広報に掲載しました。贈呈者5名                      (平成25年度予定)贈呈予定者18名</p>	1年以内
10	障がい者の自立支援と優しさを持つ企業への公的支援の検討	人と人が支えあう施設などの運営を支援し、一人でも多くの雇用につながるよう公的な支援制度をつくります。	<p>障がい者福祉施設で行われているさまざまな役務の提供やいろいろな商品等の製造、販売を多くの市民、市内企業の皆様にご提供いただき、障がい者の雇用や就労の支援に繋がるよう、平成25年2月14日に「合志市障がい者福祉施設展示商談会及び販売会」を開催しました。その際、商工振興課の方から市内企業連に、福祉課の方で市内保育園、幼稚園、商工会、各工業団地を回り案内チラシを配布し参加の呼びかけを行いました。今後も各事業所と連携を図り、一人でも多くの障がい者の就労に繋がるような支援を行っていきたいと考えております。</p>	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
11	楽しい子供会活動活性化支援体制づくり	子供会活動自体が保護者の負担になっているため、活動を行政が積極的に支援するチームをつくるとともに、行政の能力を活かした人的支援を行います。	前年度に引き続き、市の人材バンク制度等を活用し、各子ども会からの要望に応じた支援が出来るような体制作りを検討しました。 平成25年3月には、三つの木の家自主事業にてジュニアリーダーの育成を実施し、各子ども会との連携が取れるような体制を整えていきます。	1年以内
12	給食費振り込み制度の検討	旧西合志町では振り込みが可能ですが、旧合志町では当番制になっています。それぞれにメリット・デメリットがありますが、よりよい方法を皆さんとともに検討します。	平成24年5月より、市小中学校において、口座引落を実施しました。 平成25年度についても、同内容で継続する予定です。	1年以内
13	教師力の向上: がんばる先生が頑張れる環境をつくる	子どもたちのために、自己研さんに励む先生たちに市が研究費用を支援し、ひいては子どもたちの学力・体力向上を目指します。	平成23年度より、市小中学校で「がんばる先生支援補助金」を活用した事業を実施しました。取組みとしては、県外の学校研究発表等の研修、外部講師を招聘しての校内研修、先生の資質向上のための図書購入などの事業を実施しています。 平成25年度についても、同内容で事業を継続する予定です。	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
14	子育て中の働く人たちが、より働きやすい環境整備	働く人たちのリフレッシュ施設である体育館、グラウンド、研修室など一般に開放する公共施設の使用料を見直します。	施設使用料のうち、市内料金でばらつきがあった料金について、安価な方に合わせた使用料の改正を平成23年4月1日から実施しています。 また、総合センターで行う市主催行事について、要望に応じた一時託児の運用についても平成22年10月から行っています。	1年以内
15	スピード感のある行政経営「まちづくり戦略室」	まちづくりの課題解決のため、企画立案・実施まで一貫して行う市長直轄の部署を作ります。	平成22年7月の組織改正により、まちづくり戦略室を設置いたしました。 今後もまちづくりの課題解決のためにスピード感のある行政経営に努めていきます。	1年以内
16	地域を守る消防団便りの発行	身近に地域防災を担ってくれる消防団や自衛消防隊の活動状況を広く市民の皆さんにお知らせすることで、防災意識の高揚と消防団活動の維持・拡大を図ります。	消防団の役割や活動について、定期的に広報誌に掲載し、市民に対して消防団の重要性を認識してもらうことで消防活動の理解・協力をお願いしたところです。	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
17	広報「こうし」: より面白く充実した情報の提供	市の課題を明らかにし、事業を起こす前から市民と意見を交換することのできるような双方向の情報交換ができる広報誌づくり・情報受発信を進めます。	<p>「市民の活躍や話題」を継続的に掲載をするよう努めました。</p> <p>また、広報紙以外でも「役立つ情報」や「活動報告」などをホームページやツイッターで随時発信し、市民の話題や市の魅力など動画の発信を行ないました。</p> <p>ホームページはリニューアルを実施し、出来るだけ多くの情報を、各課より発信するように取り組みを強化してきました。これらの取組により、リニューアル前に比べて少しではありますが閲覧が増えている状況にあります。今後も、情報発信をより多くリアルタイムに行っていけるよう、取り組みを工夫していきたいと考えています。</p> <p>また、広報紙も、紙面のあり方を検討し、「ルワンダ通信」や「特集記事」など、工夫した紙面づくりを目指した取り組みを進めていきます。</p>	1年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
18	次世代へ引き継ぐための公共投資	身近な住環境の整備に積極的に取り組みます。高齢化が進むと住宅や土地を手放すことも考えなければなりません。誰もが住みたくなるような、より財産価値をあげることのできる公共事業に積極的に取り組むことで、若い世代へ財産を引き継ぐことが可能となります。	築年数が相当年経過した各地区の道路や側溝については、計画的に整備を進めております。また、子どもからお年寄りまで誰もが安全、安心で楽しく過ごせるよう、老朽化した施設を改築更新し、公園を適正に維持管理していくとともに、次世代へ引き継ぐ財産となるよう、積極的な整備に取り組んでいきます。	1年以内 H22～25年度
19	子どもたちが安心して通学できる環境をつくる	各小中学校の通学路の防犯灯設置率を100%に引き上げます。	通学路の防犯灯設置については、平成23年度までに各小中学校から設置要望があったところについて対処したところです。今後も各学校等と協議のうえ、財政状況を勘案しつつ、計画的な通学路の環境整備を進めて行くこととしております。	2年以内
20	動物と共生する条例策定	飼い主の責任と義務を明文化し、ペットとともに快適に暮らすことのできる環境と社会を作ることを目指し、市民と一緒に条例をつくります。	条例の内容については既に合志市美しいまちづくり条例に規制条項があり、さらに、動物の鳴き声は環境基本法、犬の放し飼いについては、熊本県動物の愛護及び管理に関する条例があります。よって、新たに条例を制定する事は既存条例等の内容と重複することとなります。また、既に合志市美しいまちづくり条例に基づき文書や、看板、広報等に対応しているため、新たに条例の制定は必要ないと考えます。動物の愛護についても、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、学校、地域、家庭等における教育活動、広報活動等を通じて普及啓発を図るよう努めていきます。	2年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
21	子ども会議による遊び場確保	子どもたちの意見を活かし、一緒に作っていく子ども参加型の遊び場確保が必要です。大学との連携で得られるまちづくりのノウハウを活かしながら子ども会議を開き、子ども達と一緒に遊び場構想を練り、事業を実施します。	平成24年8月28日に子ども会議を開催、市長と各中学校の生徒代表との意見交換を実施しました。 平成25年度についても、同内容で事業実施を予定しています。	2年以内
22	ボランティアに感謝の気持ちを表し活動を広げる表彰制度	ボランティアに対する正当な評価が得られる仕組み、市民への理解を促し、ボランティアの輪を広げ、感謝の気持ちを表す表彰制度を作ります。	合志市ボランティア表彰実施要綱に基づき、市ボランティア連絡協議会、各区長に推薦を依頼し、第2回表彰式を11月23日に実施しました。被表彰者は11団体・10個人で、表彰式の様子を市ホームページに、広報「こうし」には平成25年1月号に記事を掲載しました。	2年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
23	合志市のお宝発掘：人材マップの作成	合志市には、魅力ある人たちがたくさんいます。優れた人材は合志市の宝です。色々な特技や能力を地域に活かしたい人、教えてもらいたい人、そんな人たちの橋渡しをする人材マップを作ります。	平成24年12月に「合志市人材(財)バンク設置要綱」を指導者としてだけでなく、市の発展に何らかの形で協力したいと思っている人も登録できるように改正しました。今後は、委員会の委員への選任など、登録者の活用を図っていく予定です。 平成25年3月31日現在で3団体6個人を指導者として、26名を市政参画登録者として登録しました。	2年以内
24	学校給食 おいしいご飯で健康な体をつくる	子どもたちが家庭用炊飯器を使って、クラスごとに温かご飯を自分たちで炊き上げ、お茶碗に一人ひとりがよそう学級給食を進めます。	炊飯器給食を実施するために必要な設備等の検討を行ったところ、炊飯ルームや電源拡張工事など多額の経費が必要となります。また平成22年度で農林水産省の補助金が廃止されております。 以上のことから、当初は補助事業で実施することを想定しておりましたが、補助事業が廃止されたことにより、市単独での財源確保が必要となるなど、マニフェスト作成時と状況が大きく変わっておりますので、見合わせたいと考えております。	2年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
25	さわやかな学習環境をつくる	受験前の中学3年生のクラスを対象にクーラーを整備します。	<p>平成23年度繰越明許費により、市中学校の3年生の普通教室、合志中学校6教室、西合志中学校3教室、西合志南中学校7教室の計16の普通教室に空調設備を設置しました。(事業完了)</p> <p>また、平成25年度は平成24年度の国の緊急経済対策に伴う補正予算に「合志市小中学校空調設備整備事業」が事業採択されたことから、市小中学校の全教室(236教室)に空調設備を設置する予定です。</p>	2年以内
26	合志市女性センター「かすみ草館」設置	男女共同参画社会の実現をみんなで推進するまちに合志市女性センター「かすみ草館」を設置します。合併した市には、旧町ごとの歴史資料館があります。二つの歴史資料館を一つに統合し、不要となった施設に女性センターを設置します。	<p>平成23年度に歴史資料館と郷土資料館の統合の可否について、文化財保護委員会にて審議いただき、現時点では行わないとの答申を得ております。</p> <p>引き続き住民から意見を聞き、住民の意見を踏まえ検討していきます。</p> <p>市男女共同参画推進懇話会及び市女性連絡協議会「まちなつと“セラヴィ”」の意見としては、時間に気がねなく自由に使える施設を希望されているため、施設管理の面からは課題がのこります。また、検討してきました歴史資料館・元法務局後跡施設等については、現在使用されている団体の関係や女性センターの位置付け(①女性の駆け込み寺的なワンストップで困りごとを解決できるセンター②公民館的な会議等ができる施設③女性団体の事務局業務ができるセンター)により施設の場所、市職員等の配置等の課題があります。懇話会委員は平成25年度より新たな委員を中心に議論を重ねていますが、意向としては以前の位置づけからの変化はありません。また、西合志庁舎健康福祉部全体が女性センター的な対応が出来ているとの認識も委員の中にはありません。</p>	2年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
27	歴史・伝統文化の共有: 歴史探訪バス「まちめぐり食べさる紀バス」の運行	春夏秋冬年4回のまちめぐり食べさる紀バスを走らせ住民交流とお互いの理解を促進させます。	前年同様、ふるさと探訪、歴史探訪とあわせ郷土料理などを提供する「ふるさと探訪まちめぐりバス」の運行を実施しました。年4回開催し、延べ99人が参加しました。好評につき本年度も実施します。	2年以内
28	市民・議会・行政の協調による事業仕分け	市民、議会、行政の協調により、事業仕分けを行います。無駄な事業費のカットは、市民、議会、行政が共に進めるべきものです。市民第一に二元代表制の中でお互いの責務を明確なものとしします。	平成23年度の反省点等をふまえ、仕分け委員から行政職員を除外し、新たに公募委員を加えるとともに、事業数を32事業に倍増して8月9・11・23・25日の4日間仕分け作業を行いました。 結果は、廃止(不要)1件、民間・市民による実施2件、市実施(現状)7件、市実施(改善)20件、市実施と市実施以外が同数1件、市実施(現状)と市実施(改善)が同数1件という評価になりました。この仕分け結果をもとに市としての対応を協議し、平成25年度予算編成に取り組みました。 平成25年度は、いただいたアンケートを参考に、「事務事業検証会」に名称を改め、さらに内容を充実して実施する予定です。	2年以内

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
29	消防署の誘致	合志市・菊池市・大津町・菊陽町で構成する菊池広域連合消防本部の中で、人口が集中し、また、構成市町村への出勤を考えると、圏域の東西をつなぐ大津西合志線、南北を結ぶ住吉熊本線の交差する合志庁舎前は候補地として最適です。関係市町長との協議を積極的に進めます。	当面は現在のままの4署体制でいくところであり、西消防署については、平成23年度に建替えの設計を行い平成24年度から工事に着手しています。	在任期間中
30	黒石原演習場への災害対策拠点づくり	現状の広大な自衛隊演習場に熊本都市圏の災害対策拠点としての機能を持たせ、そこにいたる災害対策緊急避難道路の整備、災害対策緊急医療機関としての熊本再春荘病院、菊池恵楓園の機能強化、緊急医療ヘリポート等、都市近郊に位置する自衛隊施設を市民のための有効な施設となるよう国に強く働きかけます。	平成24年に副市長を筆頭に北熊本自衛隊に合志市の現状と将来についての要望等を行いました。自衛隊側からは、いきなり整備ということではなく、訓練等を積み重ねていくことで必要性が出てくることのお話でした。今後も関係機関への働きかけを継続してまいります。	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
31	合志警察署の誘致	<p>大津警察署管内で最も犯罪件数の多いのが、光の森周辺の菊陽町、合志市です。警察業務の現状や市としてのポテンシャルを考えれば警察署の誘致も不可能ではありません。警察官としての経歴、熊本県議会議員、国会議員秘書としての経験を活かし、実現に向け動きます。</p>	<p>平成23年12月に熊本市の政令指定都市移行に伴う警察署の管轄区域の見直し意見書に対して、「合志市に警察署設置を要望する会」から熊本県警察本部に対し、要望書が提出されました。</p> <p>その後、同会より平成24年5月に合志市に警察署設置を懇願する合志市民の署名(27,028人分)が、県知事宛及び県警本部長宛に提出されました。</p> <p>平成24年8月には市の取組みとして、今後の治安情勢及びスマートインターチェンジ計画に関連する道路交通情勢の対策、また、市民の強い要望を受けて合志市に警察署設置を願う要望書を熊本県知事宛、熊本県議会議長宛、及び熊本県警察本部長宛へ提出しました。</p> <p>その際、市議会からも熊本県に対して、意見書を提出されています。</p>	在任期間中
32	自家用車に頼らずに済む公共交通網の整備	<p>現行の循環バス、環状バス、乗り合いタクシーなど公共交通の充実を高齢社会の現状にあったきめ細かな事業展開を進めています。</p>	<p>平成21年度から3か年間の実証実験期間を終え、平成24年度からは、レターバスをはじめとする各コミュニティバスを本格運行としました。また、レターバスを7月から左右回り各1便増便し利便性の向上を図りました。その結果、平成25年3月の実績では、利用者数6,731人、1便あたり利用者数19.2人、収支率24.2%でありました。</p> <p>利用啓発活動については、平成24年11月に地域公共交通市民シンポジウムを開催し、公共交通への意識の高揚を図りました。また、自治会および老人クラブ等の3団体に地域公共交通講座を実施しました。</p> <p>平成24年4月におでかけサポーター養成講座を実施し、新たに10人を登録し、登録者数は14人になりました。</p> <p>運行経費削減策として、レターバスにおける広告収入を実施し、3社から広告収入がありました。</p>	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
33	こうし大学、こうし高校の積極的な誘致	市には、高校、大学のグラウンドをはじめ、公的研究施設、さらには職に結びつく工業団地等があります。また、交通アクセスも良く、大学・高校などの立地に大切な要素が整っています。このような恵まれた環境を持つ合志市に似合う高校、大学の誘致を積極的に進めていきます。	少子高齢化が進行している状況において、高校や大学の誘致となるとハードルは非常に高いと考える。現段階では包括連携協定を締結している県内の大学や熊本高専に本市のフィールドを活用し事業展開を図っていくよう様々な分野において協議を進めています。	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
34	地域の発展バランスを考えた土地利用検討委員会の立ち上げ	新市建設計画で約束された県道大津植木線バイパスの整備促進と、従来の製造事業所だけではなく、研究施設や農業を活かした企業誘致など、地域特性を活かした土地利用の検討が必要です。	<p>県道大津植木線バイパス整備促進については、事業の早期完成のため、県と協力していきます。</p> <p>また、土地利用検討については①竹迫地区②辻久保～黒石地区③北熊本スマートインターチェンジ周辺の3つのエリアに関し、学識経験者、市議会議員、地域企業及び地域代表等で構成する検討委員会を計5回開催し、全体構想を取りまとめました。</p> <p>この検討委員会での結果を踏まえ、人々が安心して安全に暮らせ、地域格差のない活力に満ちた「健康都市こうし」の創出を図るため、土地利用の指針として重点土地利用計画書を策定しました。</p> <p>平成24年度は、三つのエリア構想のバランスを図りながら、計画書に基づいた具体的な土地利用に着手しました。</p> <p>なお、重点土地利用計画の一つである竹迫地区の中で、合志庁舎前の地域については、市街化区域への編入に向け整備に着手したところです。</p>	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
35	都市計画の見直しができる市	合志市の市街化区域は1割にも満たず、日々の生活をおくるための商業店舗も簡単には建てられない状況です。既存市街地に隣接する市街化調整区域の土地利用をもっと使いやすくする必要があります。さらに、今必要なのは自分たちの住む町の土地利用を自分たちが考え、実行できることです。調整区域の規制緩和に向け、熊本県・熊本市・周辺市町との積極的な協議を進めます。	市街化調整区域における現行の都市計画基準では、小規模な店舗等しか立地できないため、市街化区域に隣接した市内の南部地域の開発が年々進むことで、北部地域との格差が益々大きくなってきています。バランスのとれた土地利用と北部地域の活性化のためには、生活利便施設等の立地基準の緩和が必要ですので、引き続き規制緩和の要望を行っていきます。	在任期間中
36	農業と農地を活かした住環境の整備を制度化	現在ある地区計画制度を見直し、市街化調整区域の農地に新たな付加価値が付くような仕組みをつくります。家庭菜園つきの集合住宅建設ができるよう地区計画制度を見直せば、土地所有者としては土地を手放すことなく安定した収入の確保ができ、借り手にしても市街化調整区域であるというデメリットがメリット(地価の安さと豊かな農地)に変わります。	市街化調整区域の活性化のため、合志市、菊陽町、益城町、嘉島町で協議会を設けており、集落内開発、及び地区計画制度の要件緩和、柔軟な運用を要望してきたところです。平成24年度に構成している4市町を一体的に捉えた土地利用計画として、「熊本都市計画区域東部地域活性化ビジョン」を策定しましたので、これを基に県と更なる具体的な協議を行っていきます。	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
37	魅力ある農業と起業化	<p>個々の農地、個々の技術を集結し、より安定した農業経営ができるような新たな農業組織・形態の検討と、農業生産法人の誘致など、農家所得の安定を図り、農業を魅力あるものとする農業政策を進めます。</p>	<p>薬用植物「甘草」の事例については、2年間の試験栽培を経て、本市が栽培適地と分かりました。今後、本市の特色のある健康素材として、六次産業化や農商工連携において活用できるように、課題抽出や仕組の整備を進めていきます。また、本市に立地する農業研究機関との連携のもと、クロダマル(黒大豆)などの新規導入作物の活用法の検討も進めています。</p> <p>なお、これらを、より効率的・効果的に推進するため、次年度、市役所内の関係部署の横断的な連携体制として「六次産業化プロジェクトチーム」を構成することとしています。</p>	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
38	合志市の特性を活かした新しい産業の創出 健康ファクトリー構想	健康産業(農業・バイオ)は、合志市の特性に合った産業であり、魅力的なものとなるはず。身近なものに付加価値をつけて、健康をキーワードに農業、工業、商業が密接な関係を持ちながら大きな広がりを見せることができます。また、健康産業、健康食材、医療品・医薬品、農業、大学、研究機関等を集積させ、単なる観光ではなく、中長期滞在型の集客施設、県内はもとより広くアジア圏域から人を呼ぶことのできるような「おもてなしの産業づくり」エリアの検討を進めます。	<p>薬用植物「甘草」の事例については、2年間の試験栽培を経て、本市が栽培適地と分かりました。今後、本市の特色のある健康素材として、六次産業化や農商工連携において活用できるように、課題抽出や仕組の整備を進めていきます。また、本市に立地する農業研究機関との連携のもと、クロダマル(黒大豆)などの新規導入作物の活用法の検討も進めています。</p> <p>なお、これらを、より効率的・効果的に推進するため、次年度、市役所内の関係部署の横断的な連携体制として「六次産業化プロジェクトチーム」を構成します。</p>	在任期間中
39	公的医療機関と連携した県北の健康・医療拠点づくり	熊本県北部の中核的な医療センターとしての期待が高まる再春荘を核とし、菊池病院、恵楓園との連携を強化し、健康を支える医療拠点づくりを進めます	再春荘病院が地域医療支援病院に格上げされました。健康ファクトリー構想と合わせて医療機関との連携を更に進めていきます。	在任期間中
40	健康総合グラウンドの整備促進	既存のグラウンドが市民の要望に合ったものであるか検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みと、グラウンド整備を進めます。	<p>平成24年度5回のグラウンド利用促進検討委員会を開催し、委員会として3月7日に市長へ「合志市スポーツ施設のあり方について」(意見書)を提出しました。</p> <p>なお、グラウンドの整備については、提出された意見に基づき検討を進めます。</p>	在任期間中

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
41	御代志～光の森線： 100万都市公共交通構想	100万人の熊本都市圏にLRTやBRT環状線を走らせ、JR光の森駅と熊電御代志駅を結ぶ公共交通体系を整えます。	<p>JR光の森駅と熊電御代志駅の結節については、コミュニティバス(レターバス)運行による6往復/日の結節を行い公共交通体系の整備を図っています。</p> <p>また、LRTやBRTによる環状線の実現に向けた取組みについては、熊本市が掲げている「熊本市公共交通グランドデザイン」における公共交通ネットワーク計画及び平成26年策定予定の「熊本都市圏総合交通マスタープラン」なども視野に入れ、今後「熊本都市圏協議会」の中で協議していきます。</p>	夢・アイデア
42	国・県の用地を賢く使う、 発想の転換事業	堀川の沖野遊水地など、たとえば、ペットが、伸び伸びと走り回れるスペースや子ども達がサッカーや野球を楽しむにも十分な広さがあります。	<p>沖野遊水地の活用について市民の意見とアイデアを募集し、広報「こうし」平成25年2月号に記事を掲載した結果、10人の市民からアイデアが寄せられました。</p> <p>今後、関係課とアイデアの実現について検証を行ない、県との協議を行なう予定です。</p>	夢・アイデア

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
43	農家の下宿屋制度	産学官連携の一つとして、大学農学部や農業に関心のある大学生を下宿させます。バイトとして農業を手伝ったり、子どもたちの勉強を見てやったり、時には婚活にもなるかもしれません。若い世代に農業を知ってもらい、農業に活気をもたらす一つの制度として検討していきます。	活動拠点として上庄地区の空き家をリフォーム(みんなの家)し、包括連携協定を締結している熊本県立大学と「食」と「農」を踏まえた地域活性化の取り組みを実施しています。 これまでは、地域住民と県立大学生や東海大学生等との交流会、更には学生による下宿を行った。今後は、県外からも農業をしたいとの問合せもあっており、地域が受入れを行うための意見交換や地域調査を県立大学と共同に実施していきます。	夢・アイデア
44	空家を活用したみんなが集う店づくり制度	地産地消と地域での生きがいを目的として、地域住民で経営する指定日だけの店づくり。地域住民の憩いの場として、生産農家との触れ合いの場として、空き家や空き店舗の有効活用として、商売・笑売・生売。	平成24年度から包括連携協定を締結している熊本県立大学と共同に、上庄地区をモデルに地域の課題について市民調査を実施している。結果、日常生活で必要とする食材等の小売店が必要との声もあがっているため、引き続き都市計画法の問題等を協議し進められることから進めていきます。	夢・アイデア

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
45	農業による新たな雇用機会の創出	例えば「アニメ村」。アニメ原画書きを業とする若い世代を受け入れる村を作り、収入の足りない部分を農業でカバーする。若い世代の夢と、新しい農業雇用形態を築く取り組みです。	<p>本年度も、熊本県の補助事業を活用し、市内小学生28名を募り、合志市アニメCM制作を夏休み(3日間)と冬休み(2日間)の5日間で実施しました。この制作の指導者として、九州アニメーション(株)所属のアニメクリエイターと(株)青ニプロダクション所属声優の協力を得て、民間のCMコンテストや市HPでPRを行いました。また、県外からアニメ監督が訪問され農業の魅力を活かしたアニメを制作してみたいとの意見があったり、沖縄県からも同様の取り組みをしたいとの声もありました。</p> <p>今後もコンテンツ企業やクリエイター等へPRを行い誘致を視野に入れ進めていきます。</p>	夢・アイデア
46	ドラえもんのような職員づくり	必要な物がすぐに出てくるドラえもんの不思議な四次元ポケット。色々な視点で物事をとらえ、みんなの夢をまちづくりに活かすことのできる行政職員。市民の要望に優しく、素直に応えることができ、フットワークの軽い行政職員・組織を目指します。自由に使える研修費用を用意し、自主的な研修に取り組みせ、市民ニーズを的確に捉え、スピーディな対応ができる四次元ポケットを持った職員づくりを目指します。	<p>テーマごとに意欲のある市職員をメンバーとする研究チームを設置し、地方分権時代における独自の地域活性化やユニークなまちづくり等の研究に取り組んでいます。</p> <p>その一つに「婚活」と称し、地域や企業と市職員の人的交流の活性化について議論する研究テーマを設けており、現在、民間団体が「異業種交流」と称して、地域の企業等に呼びかけ「独身の男女が知り合う機会の場の提供」を行っています。</p> <p>これまで、7名の市職員が関わっており、平成24年度は月1回のペースで開催され、延べ約70名の参加がありました。</p>	夢・アイデア

## 市長マニフェスト 進捗状況

NO	事業名	事業説明	平成25年3月末の取組状況	実施時期
47	東熊本経済圏構想	熊本市、菊陽町、大津町等との人口100万人規模の経済圏を将来的な姿として捉え、広域的なまちづくりを検討することが必要です。	平成24年度より、菊池広域連合において、現在2市2町が個別に運営している各種システムの共同化について研究を始めました。連携を図ることにより、更なる住民サービスの向上と経費削減についての効果等を今後検討していくところです。	夢・アイデア